

コレット (2018)

COLETTE

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 イギリス/アメリカ

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2019/05/17

公開情報 東北新社=STAR CHANNEL MOVIES

映倫 PG12

【キャッチコピー】

ココ・シャネルに愛され、オードリー・ヘプバーンを見出した、実在の小説家

【解説】

キーラ・ナイトレイが『シェリ』『ジジ』などで知られるフランスを代表する女性作家シドニー＝ガブリエル・コレットを演じる伝記映画。片田舎で自由奔放に育った少女が、やがて14歳年上の男性と結婚し、華やかなパリの社交界にデビューする一方、女性差別が当たり前の時代と格闘し、いかにして押しも押されぬベストセラー作家へと至ったのか、その波瀾万丈の半生を描き出す。共演はドミニク・ウェスト、デニス・ゴフ、エレノア・トムリンソン、フィオナ・ショウ。監督は「アリスのままで」のウォッシュ・ウェストモアランド。

フランスの田舎町で生まれ育ったコレットは、14歳年上の人気作家ウィリーと出会い、激しい恋に落ちる。やがて1893年、ウィリーと結婚したコレットは、“ベル・エポック”真只中のパリに移り住み、華やかな社交界で享樂的な世界に染まっていく一方、ウィリーの浪費癖が原因の借金問題に悩まされていく。そんな中、コレットの文才に目をつけたウィリーは、彼女に小説を書かせ、それを自分の名義で発表する。この『クロディーヌ』シリーズは一大ブームを巻き起こすが、ゴーストライターという立場のコレットは、自らの人生に疑問を抱き始める。そして男装の貴族“ミッシェ”との出会いが、コレットの生き方を大きく変えていくのだったが…。

【クレジット】

監督	ウォッシュ・ウェストモアランド	Wash Westmoreland
製作	エリザベス・カールセン	Elizabeth Karlsen
	スティーヴン・ウーリー	Stephen Woolley
	パメラ・コフラー	Pamela Koffler
	クリスティーン・ヴェイコン	Christine Vachon
	ミシェル・リトヴァク	Michel Litvak
	ゲイリー・マイケル・ウォルターズ	Gary Michael Walters
製作総指揮	スヴェトラナ・メトキナ	Svetlana Metkina
	ノーマン・メリー	Norman Merry
原案	リチャード・グラツァー	Richard Glatzer
脚本	リチャード・グラツァー	Richard Glatzer
	ウォッシュ・ウェストモアランド	Wash Westmoreland
	レベッカ・レンキエヴィチ	Rebecca Lenkiewicz
撮影	ジャイルズ・ナットジェンズ	Giles Nuttgens

プロダクションデザイン	マイケル・カーリン	Michael Carlin	
衣装デザイン	アンドレア・フレッシュ	Andrea Flesch	
編集	ルチア・ズケッティ	Lucia Zucchetti	
音楽	トーマス・アデス	Thomas Ades	
音楽監修	カレン・エリオット	Karen Elliott	
出演	キーラ・ナイトレイ	Keira Knightley	コレット
	ドミニク・ウェスト	Dominic West	ウィリー
	デニース・ゴフ	Denise Gough	ミッシー
	エレノア・トムリンソン	Eleanor Tomlinson	ジョージー・ラオール ル＝デュヴァル
	フィオナ・ショウ	Fiona Shaw	シド
	ロバート・ピュー	Robert Pugh	ジュール
	レイ・パンサキ	Ray Panthaki	ヴェベール